

# 2014年度「専門特殊研究」研究会一覧 (秋学期追加分)

2014年9月24日  
文学学術院

2014年度実施の専門特殊研究の秋学期追加研究会は以下のとおりです。

「科目登録マニュアル」も確認してください。

なお、本内容は講義要項には掲載されていませんので、ご了承ください。

## 【専門特殊研究について】

高度な原典講読や資料解読、数理系の問題演習など、少人数による上級者向けの研究会での成果を、学部での履修単位として認定するための科目です。

### ＜履修について＞

- 1科目2単位とし、合計8単位を上限に卒業必要単位に算入されます。
- 年間における登録制限単位数、科目数には算入しません。
- 同一の学期に2研究会（4単位）までの単位認定が可能です。
- 1年次の秋期・後期から、4年次の春期・前期まで履修することができます。  
※未進級者は1年次の扱いになります。また、延長生は履修することはできません。
- 本研究会は科目登録の結果通知には反映されません。

### ＜成績について＞

- 学期終了後、一定の条件を満たした研究会において、十分な成果を収めた学生についてのみ、単位の認定を行います。
- 評価は次学期の初めに行われ、実際に参加した次の学期の単位となります。
- 合格の場合、成績証明書には、「専門特殊研究（副題）（担当教員名）（配当年度・配当学期）」と記載します。

★各研究会の内容に関するお問い合わせは、以下の担当教員まで直接お問い合わせください。

## （以下、学期・曜日・時限・主題名五十音順）

秋学期

火

4時限

実施曜日・時限  
の特記事項

### 参加可能年次

2年以上

### 主題

奈良・平安時代の文献講読

### 担当教員

川尻 秋生

## 研究概要

奈良・平安時代の文献を講読するには、ある程度訓練が必要です。本研究では、初心者からはじめて卒業論文や卒業研究の作成に至るまで、当該時代の文献を独力で読めるようになることを目標として毎時間輪読を行います。したがって、毎回予習をすることが欠かせません。使用文献は受講者と話し合って決めたいと思いますが、「続日本紀」や「類聚三才格」などが候補になろうかと思います。

## 使用文献

受講者と相談の上決定したい。

## 活動記録の内容、提出方法

担当者を指定し、輪読形式で行う。各回の輪読部分についてノートを作成すること。この記録が三分の二以上記録されていることが、単位修得の条件になる。

## 受講者選考方法

受講希望者は、授業開始最初の金曜日（9月30日）4時限に、川尻研究室（36号館6階）に集合してください。なお、参加希望者は、事前に川尻までメールを送ってください。  
(a.kawajiri@waseda.jp)

## 備考

秋学期

金

3時限

実施曜日・時限  
の特記事項

参加可能年次  
2年以上

主題  
莊子郭象注原典講読(大宗師篇)

担当教員  
森 由利亞

### 研究概要

『莊子』大宗師篇の内容を西晋郭象の注とともに読解します。郭象は『莊子』の理論を日常の起居動作の中に落とし込み、行為や欲望から主体概念を取り去るユニークな思想家。スリリングです。

### 使用文献

清・郭慶藩著『莊子集釋』(1) 中華書局、1982 (コピーで用意します。)

### 活動記録の内容、提出方法

毎回、その場で指名しながら輪読形式で行います。毎回全員が予習する必要があります。  
学期の終わりにレビュー・シートを提出すること。この活動記録が授業総回数の2/3以上提出されていることを単位取得条件とする。

### 受講者選考方法

受講希望者は、授業開始最初の金曜日(10月3日)3時限13:00～14:30に、2401研究室に集合のこと。面談により漢文学習経験を聞き、問題なければ採用する。

### 備考

以上